

愛する人がいた そして愛する人は逝ってしまった
自死 追い詰められた死を考える

日時：9月3日(土) 13:45~16:30

会場：一関市川崎市民センターホール

プログラム

講演とパネルディスカッション

入場無料

どなたでも入場
できます

講演～「まさか」から始まった私の闘い～



弁護士 佃 祐世さん(はつかいち法律事務所所長)
つくだ さちよ

2007年4月、元裁判官だった夫を自死でなくす。
4児を育てながら、司法試験に挑戦、弁護士となった。
自死遺族支援弁護団、広島弁護士会所属。

パネルディスカッション

- 1.前川珠子 (東北希望の会代表)
- 2.桑原正好 (しまね分かち合いの会・虹代表)
- 3.佃 祐世 (弁護士・夫を自死で亡くす)
- 4.自死遺族 (岩手県)

ファシリテーター 秋保茂樹 精神科医
(秋保クリニック院長、一関地域自死とうつに関するネットワーク委員)

自死遺族からのメッセージ

多くの命が自死でしかも私たちの身近で日々失われていっています でも "自死" はいつまでも"まさか" なのです何かふとしたことをきっかけに 私たちは心を病むこともあります 時には死へと追い詰められてしまうこともあります 自死と きちんと 向き合うことが社会の更なる犠牲者を生まないことへもつながるのではないのでしょうか

自死遺族の想いを伝えるパネル展
9月2日9時から3日4時まで



同時開催

沖縄那覇でのパネル展

主催：岩手県一関保健所

共催：一関市・平泉町

後援：しまね分かち合いの会・虹

働く者のメンタルヘルス相談室、りんどうの会(岩手)

連絡先

一関保健所

0191-26-1415